

# 令和5年度

## まちづくり推進部 平鹿地域局の方針書

組織名	まちづくり推進部 平鹿地域局
所属長名	佐藤 謙功

### 1. 組織の使命(ありたい姿)

地域に寄り添った行政サービスを提供し、地域住民が生き活きと暮らせるまちづくりを進めます。

### 2. 組織の抱える課題(現状)

- (1) 地域住民の身近な行政機関として、住民の声や要望をしっかりと受け止め行動に移す必要があります。
- (2) 少子高齢化による地域力の低下を改善するとともに、住民の心身の健康維持に努める必要があります。
- (3) 担い手の高齢化やコロナ禍の影響により、地域産業の継続、伝統文化や観光行事の存続が危ぶまれています。

### 3. 今年度の『スローガン』

行政サービスに遠慮はしません！

### 4. 今年度の方針

- (1) 市民に寄り添い、地域から親しまれ信頼される地域局を目指します。
- (2) 安全で安心な地域振興施策により、住民が生き活きと暮らせるように支援します。
- (3) 地域資源を活かした魅力ある産業の振興とともに、観光や伝統行事の活性化に努めます。

### 5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	市民に寄り添い、地域から親しまれ信頼される地域局の構築
	取組内容	① 明るいきいきと来庁者への積極的な声掛けで、親しみやすい窓口対応を推進します。 ② 丁寧で分かりやすい説明により、市民に寄り添ったきめ細やかな対応を推進します。 ③ 情報共有を密にし、重要課題には全庁で取り組みます。
(2)	実現したい成果	安全・安心で、住民が生き活きと暮らせる地域支援
	取組内容	① 「火災予防・交通事故防止・防犯」の意識付けを図り、住民とともに安全安心な地域を目指します。 ② 自治組織や地域コミュニティの取り組みを支援し、市民の交流機会の増加を図ります。 ③ 公共施設などの適切な維持管理に努め、利用者へのサービス向上を目指します。 ④ 地区交流センター事業の推進を図るとともに、浅舞地区への自主運営組織設立に向けた取り組みを進めます。
(3)	実現したい成果	地域資源を活かした魅力ある産業の振興と、観光や伝統行事の活性化
	取組内容	① 次世代への地域の伝統・文化の継承に努め、地域の活性化を推進します。 ② 地域特有のイベントや地域行事の着実な実施により、地域の賑わい創出に取り組みます。 ③ 地域の産業や観光の課題を共有し、地域資源を活用した取り組みを検討します。

## 6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

### (1) 市民に寄り添い、地域から親しまれ信頼される地域局の構築

- ・来庁者に対し率先して明るい雰囲気での声掛けをしており、丁寧な対応をしている。
- ・マイナンバーカード取得率向上のため、平日時間外や休日の臨時申請窓口を設置したほか、出張申請を実施した。

### (2) 安全・安心で、住民が活き活きと暮らせる地域支援

- ・各種健診受診率向上のため、未受診者への受診勧奨を行ったことにより、多くの健診で昨年度より受診率が向上している。
- ・浅舞朝市を会場に、誰でも気軽に立ち寄り、お茶を飲みながら楽しい時間を過ごしてもらおうと開催した、平鹿地域第2層協議体「ひらか支え愛ネット」による「浅舞朝市カフェ」の活動を支援した。
- ・地域からの要望などについては、関係者立会いのもと現地確認、改善策の提案などを行っている。また、解決に至らない場合でも納得していただけるよう丁寧な説明を行った。
- ・浅舞地区への自主運営組織設立に向けた取り組みとして、住民を対象としたワークショップを2回開催した。(町内会代表1回、浅舞婦人会・浅舞小PTA世話人1回)

### (3) 地域資源を活かした魅力ある産業の振興と、観光や伝統行事の活性化

- ・あやめまつり及び平鹿音楽祭を通常通り開催し、多くの来場者を楽しんでいただいた。
- ・浅舞八幡神社祭典については、浅舞11町内のうち6町内が山車を製作し巡行した。浅舞町内の目抜き通りを会場に行われた宵祭りでは、各町内による山車とお囃子の披露、打ち上げ花火が行われ多くの来場者を楽しんでいただいた。

## 7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

### (1) 市民に寄り添い、地域から親しまれ信頼される地域局の構築

- ・引き続き来庁者へ寄り添った対応を行う。また、窓口アンケートでのご意見も参考にしながら市民サービス向上に取り組む。

### (2) 安全・安心で、住民が活き活きと暮らせる地域支援

- ・未受診者への更なる勧奨を行うとともに、きめ細かな健康相談を行う。また、高齢者世帯の見守り体制を強化し、関係機関と連携しながら必要なサービスが適切に受けられるよう取り組む。
- ・降雪期においては、計画的な道路等除排雪を行いながら、突発的な要望については作業員の状況を見極め柔軟に対応する。
- ・浅舞地区交流センター準備委員会の立ち上げに向け、浅舞地区で活動している諸団体の活動内容を把握分析し、地域の実情に合ったセンターの形を模索する。

### (3) 地域資源を活かした魅力ある産業の振興と、観光や伝統行事の活性化

- ・平鹿地域の冬の風物詩となっている、槻の木光のファンタジーの着実な実施に努める。
- ・平鹿りんご味覚まつりを開催し、地域住民とともに平鹿りんごや地場産農産物の魅力発信に努める。

## 8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

### (1) 市民に寄り添い、地域から親しまれ信頼される地域局の構築

- ・窓口アンケートでは、83.8%の来庁者から「満足」「概ね満足」との回答をいただいた。次年度も地域局全職員による来庁者への積極的な声掛け、わかりやすい説明などにより、市民サービスの向上に取り組む。
- ・マイナンバーカードの取得率向上のため、平日時間外や休日の臨時申請窓口を設置したほか、出張申請に取り組んだ結果、2月末現在の平鹿地域の交付率は79.8%となった。引き続き関係部署と連携し、普及促進に取り組む。

### (2) 安全・安心で、住民が活き活きと暮らせる地域支援

- ・今年度、積極的な受診勧奨に取り組んだことにより、受診率は特定健診88.0%、大腸がん検診85.3%、胃がん検診70.3%となり、いずれも前年度より向上した。次年度も早めの受診勧奨に取り組む、更なる受診率の向上に努める。
- ・地域住民等からの要望については、丁寧な説明により実施の可否を含め概ね理解をいただくことができた。また、冬期の除排雪も大きなトラブルなく実施することができた。今後も市民の声に寄り添い、公共施設の適切な維持管理に努める。
- ・今年度は、浅舞地区を対象としたワークショップを2回開催したほか、地区会議担当職員による事務局会議を開催した。事務局会議では、地域内の諸行事と各種団体の活動状況について意見交換を行うとともに、中心的に活動している個人や団体をリストアップし、地区会議担当職員が個別に声掛けを行い、準備委員会設立前段階の「浅舞を語る意見交換会」への参加を呼び掛けた。今年度3回開催された「浅舞を語る意見交換会」では、幅広い世代や地域の団体からの参加が得られ、準備委員会の立ち上げに向け弾みがついた。次年度は住民へのアンケート調査を実施するとともに、同意見交換会による地区交流センターの在り方や具体的事業の検討を行い、地区交流センター運営組織設立を目指す。

### (3) 地域資源を活かした魅力ある産業の振興と、観光や伝統行事の活性化

- ・地域の伝統文化の継承については、この間のコロナ禍の影響により活動はまだまだ縮小傾向にあるが、市内外における民俗芸能大会やイベントなども開催されており、当地域の民俗芸能の披露の場もあったことから、次年度以降活動が活発となることが期待される。
- ・地域特有のイベントについては、計画どおりに実施することができ、多くの来場者を楽しんでいただいた。浅舞八幡神社祭典については、これまでのコロナ禍の影響で11町内すべての参加とはならなかったが、今年度の賑わいに影響され次年度は参加町内の増加につながることを期待される。
- ・平鹿りんご味覚まつりの開催により、平鹿りんごや地場産農産物の魅力につながった。
- ・町中心部のスーパーマーケットが撤退したことで、町内の空洞化の進行が危惧されている。浅舞朝市が開かれるショッピングエリアの利活用も含め、活性化対策を進める必要がある。